

アセスメントポリシー（学位・資格プログラム）

学校法人慈恵大学の東京慈恵会医科大学医学部医学科、医学部看護学科、医学研究科医学系専攻博士課程、医学研究科看護学専攻博士前期課程・後期課程、医学研究科医科学専攻修士課程及び看護専門学校におけるアセスメント・ポリシーを定める。

それぞれの学位プログラムには、ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）、看護専門学校には教育理念・教育目的に基づき教育目標が定められている。各プログラムは、卒業までに生徒・学生が身につける「資質・能力」を適切に測定する努力を継続する。そのために各プログラムが独自で努力するだけでなく、プログラムそれぞれの経験を共有し、連携・協働して学修成果の測定を改善していく。

各学年における講義・演習・実習（臨床・臨地実習を含む）及び課外での学修成果を直接評価・間接評価の両方の手法を用いて測定し、学習者が自身の学修の進歩を自覚でき、さらなる学修へ進むために、納得性のある成績評価を行う。学習者が学年進行に沿って、資質・能力を獲得していることを記録・確認することも重要である。

学修成果の測定は学習者一人ひとりに還元されるだけでなく、教育プログラムの強み、弱みの自己評価にも用い、各教育プログラムが連携・協働して改善を行っていく。